

YIA 会員だより 2024年1月号

発行；吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)
第229号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>



【1月以降の活動予定他】

◎もちつき大会

日時：1月14日（日）8時～12時

場所：西麻植青年会館（西麻植小学校の北側）

◎多文化共生交流会：2024年2月頃予定

◎AJET ミュージカル：「スポンジボブ」

3月山川アメニティー、鴨島公民館（検討中）

◆年頭のご挨拶

瀬尾 規子

私は市町村合併で吉野川市が誕生した2004年から2015年まで会長を務め、昨年5月に再び萩森前会長から会長を引き継ぎました。

萩森前会長には、8年間吉野川市国際交流協会の会長を務めていただき感謝しています。「阿波踊り国際交流連」始め、日本語教室を中心に「日本語スピーチコンテスト」「俳句・書道ワークショップ」「浴衣・着物着付け体験会」「もちつき大会」「多文化共生交流会」などを開催し、多大な功績を残していただきました。

昨年は、この活動を引き継ぎ、コロナ禍を乗り越え活発な活動を展開することができました。新たに英語に関心のある方々を対象にしたグローバルセミナーを開講し、定着してきました。これもひとえに役員や会員の皆様のご支援とご協力の賜物と心から感謝いたします。

吉野川市と同じく吉野川市国際交流協会は、2024年10月に誕生20周年を迎えます。これからも、会員の皆様や地域の皆様とともに新たな歴史を築いてまいりたいと思います。今年も皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

◆アジアフードフェスティバルランタン 大塚 貴司

アジアフードフェスティバルランタンが12月16日に鴨島駅前イベント広場で開催されました。午前中のウォーキング途中でイベント広場に行くと、萬川夫妻とお手伝いに来ているベトナム人が、寒くて小雨の降る中ランタンの飾り付けをしていました。イベントが始まる頃には雨も上がりましたが、とても寒かったです。日が暮れるとランタンの灯りがめっちゃ綺麗で、みんな写真撮影していました。

YIA国際交流協会からも、三木ハンさんがバインセオの店を出店して次から次へとお客さんが来て、作るのが大変そうでした。またベトナムの生春巻きの体験では、沢山参加者が集まって瀬尾さんも体験していました。その他にも、ベトナム、台湾、韓国、中国、インドネシア、パキスタンの屋台もありどの店も大盛況でした。終了時間前にはほぼ完売です。

終了して、ランタン、屋台の撤収にも、ベトナム人が数人お手伝いに来ていました。朝早くからの準備、最後の片付けご苦労さまでした。吉野川市、鴨島町を盛り上げるイベントを来年も開催してほしいと思います。萬川さん、鴨島駅前ホコ天市実行委員の皆さま本当に疲れさまでした。



◆ジミーさんの英会話 瀬尾 規子

昨年から、文化研修センターに英会話講座

「English with Murphy」が開講しており、YIAから7名が受講しています。講師のマーフィーさんが12月から新潟のホテルで仕事をすることになったので、代わりにオランダ人のジミーさんが講師を務めることになりました。

ジミーさんは、大阪出身の奥様と2人の娘さんと阿波市に移住して、影山蜂蜜研究所でハチミツの生産に取り組んでいます。都会の生活より、自然がいっぱい

の環境が好きだそうで、野菜もたくさん作っています。

12月の授業では、オランダについて紹介していただき、質疑応答しました。私たちのオランダのイメージは、チューリップや水車、木靴、地ビールなどですが、実際はかなり違っていたので驚きました。たとえば、食事は、ジャガイモとウィンナーが常食で、あまり美味しくなさそうでした。最近、移民問題が深刻で、ポーランドやモロッコ、ハンガリー、トルコなどからたくさん移民が来て、毎晩騒がしいそうです。合法ドラッグや飾り窓(娼婦)などの質問もありました。オランダは、フェルメールやゴッホ、レンブラントなどの芸術家を輩出し、アンネ・フランク博物館もあります。これからの講義が楽しみです。



◆プロ並の添乗員付でベトナム旅行 萩森 健治

12月8日～15日にベトナム北部、中部を旅行しました。メンバーは、日本語教室の平田さん、井口さん、私と妻、それに一時帰国するベトナム人受講生のホンさんが徳島から同行しました。また、日本語教室元受講生のチンさんが現地で合流し、我々は二人のプロ並みの添乗員兼通訳のおかげで、各地の名所観光、ベトナム料理、家庭訪問などを楽しむことができました。

8日朝、愛車で鴨島を出発し徳島市内でホンさんを乗せ関空へ。京都からJRで来た妻と合流し15:30発のベトジェットでハノイへ。ハノイ空港ではホンさんの親戚のティエンさん(運送会社の社長さん)が車で出迎えてくれ、ホンさんの自宅があるナムディン市に向かい夕食後市内のホテルに到着。

9日からはホンさんが企画した北部ツアーでホンさんの長女のフエンさん(中学3年)も同行。ティエンさんの会社の社員の運転で、東南アジアでもっとも広いというバイディン寺に案内してもらいました。10人乗りの電動カートで境内を移動し、本堂、講堂、仏塔などを参拝。午後は世界遺産となったチャンアンと



バイディン寺(ニンビン市の郊外)

いう湖と鍾乳洞が混在する神秘的な所を5人乗りの手漕ぎボートで約3時間周遊。女性が漕いで洞窟内を潜り抜けたり、石灰岩の巨大な岩壁を見あげたり、圧巻でした。

10日は、ホンさんの自宅を訪問し、ご主人とご両親に挨拶。ホンさんの長男ミン君



チャンアン(世界遺産)

(ハノイ大学1年)も加わり全員でティエンさんの会社の忘年会に招かれました。取引先や親戚の方々など100人を超える大パーティーでベトナム料理満載、各テーブルでは何度も「ハイバーウォン」の掛け声で乾杯、プロ歌手によるベトナム民謡やカラオケ、踊りなど大盛況で我々も阿波踊りを披露しました。夜はティエンさん宅に招かれ、親戚の方々含め約20人が集まり奥さんたちの手作りの豪華なベトナム料理でまた大宴会。



ティエンさん宅での歓迎会

11日からは、チンさんが企画した中部ツアーでダナン、ホイアン、フエを巡りました。11日朝ハノイ空港で出迎えてくれたチンさんと1年ぶりに会いました。ここで添乗員はホンさんからチンさんにバトンタッチし、ホンさんは自宅に帰宅。ハノイからダナン空港へ1時間半のフライト。ダナンのホテルに荷物を置き、昼食、休憩後10人乗りくらいの観光タクシーに他の客と相乗りし、夕食後すっかり暗くなってホイアンに着きました。有名な観光地だけあって町の中央を流れる川の兩岸のマーケット街は観光客でいっぱい。名物のカラフルなランタンが数多く揺れてとても幻想的。テーマパークに行き、「ホイアン・メモリーズ」

ショーを鑑賞。16～17世紀のホイアンの歴史をテーマに、2.5万m²の巨大な屋外ステージで500人もの演者がダイナミックなミュージカルを演じました。本当に感動しました。フィナーレ後には、主役のベトナム美女と日本に連れて帰りたいくらいかわいい子役の女兒と一緒に記念撮影。皆さん、ホイアンに行ったらぜひ見てください。



ホイアン・メモリーズのショー

12日は、サンワールド・バーナーズヒルズというテーマパークを観光。長いロープウェイを乗り継いで標高約1500mの高原へ。インスタ映えするゴールデンブリッジという大きな手に支えられた橋は観光客が満載。ヨーロッパをイメージしたパークやレストラン、ホテルなどがあり、若者らに人気がありそう。でも敷地が広大でアップダウンが多く、後期高齢者にとっては少しきつくて疲れました。

13日は観光マイクロバスで古都フエ観光。カイデイン帝陵を観光し、近くの宮廷料理店で昼食。ベトナム料理はみんな美味しかったです。ここの料理は特に美味しかったです。食後は旧市街のグエン王宮を見学。王宮は約600m四方もあり、古い城壁や宮殿など見所いっぱいでしたが、歩くだけで疲れました。最後にフ

ーン川のそばにあるティエンム寺を参拝。ベトナム戦争の時このお寺の住職が戦争に抗議して焼身自殺したことで有名だそうです。

14日朝、ダナン空港からハノイ空港へ。ハノイ空港で3日ぶりにホンさんと合流。チンさんは我々との別れを惜しみながらフ



タイ湖畔のレストランで昼食

ンイエンに帰宅。空港にはティエンさんの会社の社員がまた出迎えてくれてハノイ市内観光へ。ホンさんの友人女性も合流し市内を案内してくれました。タイ湖畔のおしゃれなレストランで昼食、この料理もフォー、エビの天ぷら、鶏肉、魚揚げアンカケ、おかゆ、野菜スープなど豪華で美味しかった。食後は市内のドンズアン市場へ。3階建てのビルに民族衣装、装飾品、コーヒーやお茶、靴やカバンなど小さな個人商店がぎっしり入っていて、人がいっぱい、ベトナム語がいっぱい、なんでもありの喧噪。通りに出るとバイク、車、自転車、人がいっぱい。活気がありすぎて圧倒されました。16時からは人気の水上人形劇を鑑賞。民族音楽の素晴らしい伴奏により、水中で操られるコミカルな人形劇は本当に見て楽しい。ハノイ観光では必見です。夜、ホアンキエム湖畔のカフェで休憩し、ハノイ空港へ向かいました。5人は15日1:50発の便に搭乗し15日の7:50に関空着。愛車で徳島に戻りました。ホンさん、チンさんというプロ顔負けの添乗員が同行してくれたおかげで、言葉の心配やトラブルもなく、全身体調を崩すことなく楽しい旅行ができました。

ホンさん、チンさん、ありがとう。Xin Cảm ơn !!



15日朝、無事関西空港に到着